

海外安全対策情報第3四半期（10月～12月）

1. 社会・治安情勢

11月5日、BH上院において統一個人ID番号法改正案が採択された。同法については、2月に憲法裁判所により違憲無効との判決が下され、同法律が失効、その後もボシュニャク政党とセルビア系政党の対立等により問題は解決せず、新生児等に対する個人ID番号の付与が停止したことから、6月上旬に大規模な抗議デモが発生していた。

一般治安情勢については、国内で強盗事件や発砲事件がほぼ毎日のように発生しており、手榴弾等による爆破事件も散発的に発生している状況である。また、窃盗・盗難事件は特に多く、日本人旅行者及び在留邦人がサラエボ市内でスリ被害等に遭う事案も発生した。

2. 犯罪発生件数

当地治安機関によれば、第3四半期の犯罪発生件数は以下の通り。

※（ ）内は前期の件数です。

スリ・空き巣	5,905件（4,182件）
強盗	220件（229件）
車両盗難	268件（367件）
強姦	9件（13件）
殺人	14件（11件）
誘拐	1件（2件）

3. 邦人被害事案

- (1) 10月中旬、午前12時頃、サラエボ市内のフェルハディア通りを歩いた後、旧市街地区バシチャルシヤ内のレストランに到着し、カバンを確認したところ、チャックが開いており、財布が盗まれていることに気づいた。
- (2) 12月上旬、午後3時から午後4時の間、サラエボ市内にある青空市場からチト一元帥通りを歩き、BBIセンターに到着したところ、背負っていたリュックサックのチャックが開いていることに気づいた。中身を確認したところ、財布及び携帯電話等が入ったポシェットが盗まれていた。
- (3) 12月下旬、午後5時頃から午後7時頃までの間、サラエボ市内の屋外駐車場に車を駐車していたところ、何者かに同車両を盗まれた。

4. 邦人以外の被害事案

- (1) 10月上旬、午後11時頃、サラエボ市内の観光地である旧市街地区バシチャルシヤ内にあるカフェ店で発砲事件が発生し、現場に居合わせた女性2人が負傷した。

- (2) 10月上旬、トゥズラ市内の路上で18歳の少年が襲われる強盗事件が発生。犯人は被害者から金の鎖を奪って現場から逃走した。
- (3) 10月上旬、バニャ・ルカ市内にある郵便局で、拳銃を所持した覆面の男2人組による武装強盗事件が発生。犯人らは現金約73,000KMを奪って現場から逃走した。
- (4) 11月中旬、サラエボ市内中心部のZaima Sarca通りにあるミニマーケット「Konzum」で、拳銃を所持した覆面の男による武装強盗事件が発生。犯人は現金約900KMを奪って逃走した。
- (5) 11月下旬、午後5時15分頃、サラエボ市内中心部のObala Kulina Bana通り（ミリャツカ川沿い）を走る ترام内 で、10代の若者がナイフを所持した男に襲われる武装強盗事件が発生。犯人の男は被害者から携帯電話及び財布を奪って現場から逃走した。
- (6) 11月下旬、午後3時50分頃、モスタル市内にあるカジノ（スロットマシンクラブ）で強盗事件が発生。犯人は現金を奪って現場から逃走した。
- (7) 12月上旬、午後5時頃、サラエボ市内のノビ・グラード地区内にあるカフェ「Latino」で発砲事件が発生。この事件により3人の客が負傷した。
- (8) 12月上旬、午前11時頃、トゥズラ市内にある宝石店「Gold」で、拳銃を所持した覆面の男2人組による武装強盗事件が発生。犯人は宝石類を奪い、拳銃を発砲しながら逃走した。
- (9) 12月下旬、午後8時頃、イリジャ市内にあるミニマーケット「Amko」でライフル銃を所持した男による武装強盗事件が発生。犯人は現金約800KMを奪って現場から逃走した。
- (10) 12月中旬、午前7時頃、サラエボ市内中心部のMuhameda Hadzijahica通りにあるミニマーケット「Konzum」で2人組による強盗事件が発生。

5. テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 10月下旬、午後11時25分頃、サラエボ市内のノビ・グラード地区内にある民家に手榴弾が投げ込まれ、爆破する事件が発生。犯人の少年2人はスクーターで家の前を通り過ぎる際に手榴弾を投げ込んだ。けが人はいなかった。
- (2) 11月下旬、午前8時20分頃、サラエボ市内のノボ・サラエボ地区内にある民家の屋根に、何者かが手榴弾を投げ込み爆破させる事件が発生。けが人はいなかった。
- (3) 12月上旬、午後7時45分頃、サラエボ市内のノボ・サラエボ地区内を走る ترام内 で、若い女性3人が催涙弾を爆破させる事件が発生。
- (4) 12月上旬、午後9時40分頃、サラエボ市内の旧市街地区内にある民家に、何者かが手榴弾を投げ込み爆破させる事件が発生。この爆破により家のドア及び窓等の物的損害が生じた。

6. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が対象となる事件は認知していない。